

今年も実施します！  
市民医療講座

医師や医療スタッフが最新の情報をお伝えすることを目的として、市民医療講座を開催しています。Zoomで同時配信もいたしますので、ぜひお気軽にご参加、ご視聴ください。

詳細は、当院ホームページや市広報紙、院内掲示でお知らせしますのでご確認ください。

1 箕面市立病院ロボット手術センター開設  
～すべては患者さんのために～

講師:泌尿器科 高田 剛 主任部長

・6/24(土) 10:00～11:00  
・船場生涯学習センター 6F

2023年2月に開設した  
ロボット手術センター、  
ダビンチ手術について



2 1人でも多くの患者さんに笑顔を！  
～正確、安全、「Mako」でSmile～

講師:整形外科 李 勝博 主任部長 加藤 晃士 医員

・9/2(土) 14:00～15:00  
・箕面市立病院いろはホール

人工関節手術ロボット  
「Mako」について、より詳しく



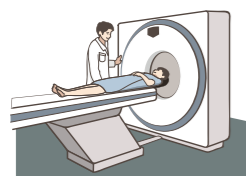
認知症について …………… 10月21日(土)

ピロリ菌と胃がん …………… 11月11日(土)

乳房再建と  
下肢動脈瘤治療について …………… 11月26日(日)

※タイトル、内容については変更になることがあります。

放射線科  
CT装置を更新しました！



2022年12月より256列CTに  
機器更新し、現在256列CT 1  
台、64列CT1台の2台体制で検  
査を行っております。

新たに導入した256列CTは、  
従来型と比較し、高速に広範囲の撮影が可能となり、撮影時  
間が短縮され、被ばく線量も低減されます。

NEW  
FACE!  
研修医のご紹介

当院の桜が満開になった4月1日、今年も9人の研修医が入职しました。

当院は厚生労働省が指定する臨床研修病院として、地域医療に貢献できる人材を育成するという役割のもと、積極的に研修医の育成を行っており、患者さんの診療の際には、指導医のもとで研修医が携わらせていただくことがあります。

趣旨をご理解いただき、皆様のご協力をお願いいたします。



研修医 1年目 吉和穂乃佳医師からのメッセージ

働き始めて間もなく右も左もわからない状況ではありますが、たくさんの方々を支えられながら、多くのことを学び、吸収しようと努める毎日です。患者さん想いのあたたかなスタッフのもと、地域の皆さんからの信頼が得られる医師になれるよう日々精進して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



また、新しい撮影技術であるデュアルエネルギー撮影により、より高画質な解析画像を撮影することができ、診断の向上につながります。



# 箕面市立病院だより



## 人工関節手術センター開設

北大阪自治体病院で

### 初導入



### より正確で安全な手術を行う 手術支援ロボット「Mako」を導入！！

箕面市立病院では最先端人工関節手術支援ロボット「Mako」を北大阪の自治体病院で初めて導入し、それに併せて2023年4月「人工関節手術センター」を開設しました。

センターでは、歩く・座る・立つなどの動作で膝や股関節の痛みが生じた場合に、変形した関節をインプラント(人工関節)に置き換える人工関節置換術において、「Mako」を用いた手術を積極的に行い、これまで以上に、正確で安全な人工関節手術を提供し、患者さんの身体的、精神的負担の軽減はもとより、満足度の向上を図ります。

対象疾患

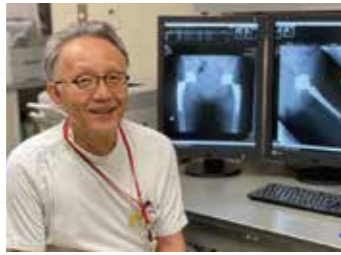
- 膝関節… 変形性膝関節症、大腿骨内顆骨壊死
- 股関節… 変形性股関節症、特発性大腿骨頭壊死症、関節リウマチ

手術支援ロボット「Mako」



# 一人でも多くの患者さんに笑顔 正確!安全!「Mako」でSmile!

人工関節手術センター長  
医務局長  
整形外科主任部長  
李 勝博 医師



センター長からの  
メッセージ

当院開院以降、私たちは人工関節手術に尽力しており、近年手術を受けていただいた患者さんの数も増加の一途をたどっています。そこで、今後さらに多くの患者さんに人工関節手術を受けていただき、喜んでいただくために、手術支援ロボット「Mako」を導入し、併せて人工関節手術センターを開設することとなりました。

私は“一人でも多くの患者さんを笑顔に”をモットーにしております。関節を傷めている患者さんは、人にわかってもらえない痛みを抱え痛みのせいで出かけることも少なくなり、だんだん引きこもって、ふさがちになる方が少なくありません。なかなか手術に踏み切れない方も多くありますが、手術を受けた方に聞いてみると、ほとんどのの方が、「もっと早く受ければ良かった」と話をされ、表情も性格も明るくなる方が大勢いらっしゃいます。

これからも、新しい技術も使いながら、より正確で安全な手術を行い、一人でも多くの患者さんを笑顔にし、幸せにできるよう引き続き精進していく所存です。

新しく誕生した人工関節手術センターを、よろしくお願いたします。

センター長に聞きました!

## 手術支援ロボット「Mako」とは?

「Mako」は日本で初めて承認された整形外科における手術支援ロボットです。人工関節置換の手術を保険診療で受けることが可能です。

事前にCT画像などを基にロボットに手術の部位や内容を登録し、医師が操作しながら動かして、痛んでいる骨を削ったり切除したり、インプラント（人工関節）を設置する際に、医師の手術操作を支援するものです。

## 「Mako」を使って手術を行うメリットは?

事前の計画どおり、正確かつ安全な手術ができることです。「Mako」は医師が操作しますが、人の手のように手ぶれすることがなく、正確に動き、止まります。

身近なものに例えると車の自動ブレーキのようなもので、治療計画にない動き、つまり、削ったり切除する必要のない部位にさしかかると、インプラント（人工関節）設置の位置がずれたりすると自動停止する仕組みになっています。

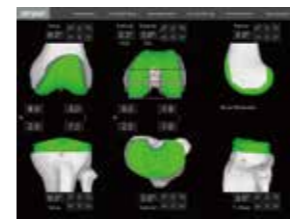
治療計画どおり手術器具を操作することができるため、



血管・神経の損傷などを最大限に防ぐことができ、人工関節の固定も正確な角度で設置することが可能となります。

これにより患者さんにとって、手術後の痛みの軽減、合併症の減少、人工関節が長く使用できるなどが期待できます。

## 正確・安全「Mako」手術の流れ



### ●術前計画

CT（コンピューター断層撮影）などの検査で得られた患者さんの骨格の情報を、コンピューターに入力し、インプラント（人工関節）を設置する位置やサイズ、骨を削る深さや角度などを決定します。

### ●関節のバランス調整

手術中は、ナビゲーション機能を使用して治療する部位と手術器具の位置関係を正確に計測し、リアルタイムにコンピューター画面に表示します。医師はモニターに映し出される骨を削る角度や深さを確認しながら手術を行います。

股関節の場合は、脚の長さを調整したり、膝関節の場合は、関節の変形（O脚やX脚など）を矯正してバランスを整えます。

●ロボティックアームによる支援  
医師は、ロボティックアームを持ち、ナビゲーションの指示に合わせて操作し、骨を削ったり切除したりします。

このとき、治療計画から外れた角度や深さで骨を削ろうとすると、自動的にロボティックアームにロックがかかり動きを制御し、インプラント（人工関節）を正確な位置に設置することを支援します。



## 股 手術の流れ 股関節

手術は股関節のやや後方、または外側、あるいは前方の皮膚を切開して行います。



## 膝 手術の流れ 膝関節

手術は膝関節の前面の皮膚を切開して行います。



## 人工関節手術 Q&A



Q 入院期間はどれくらい?

A 入院期間としてはリハビリテーションの進行に個人差がありますが、3、4週間程度が目安です。当院はリハビリテーションセンターを併設しており、週に7日間、休日も含めて365日リハビリテーションが受けられます。

Q スポーツができるようになりますか?

A ウォーキング、サイクリング、ハイキング、水泳(クロール)、ゴルフなど関節に負担がかからないスポーツが可能です。

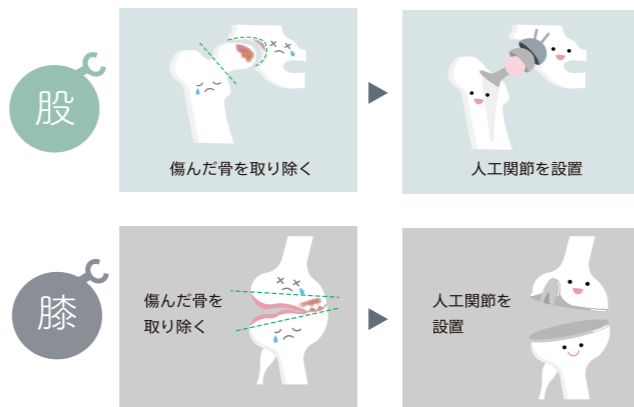
Q 手術費用はどれくらい?

A 医療保険が適用される手術で、高額医療の対象になります。入院前に限度額適用認定証の申請の手続きをしておくと、退院時の高額な一時払いは不要になり病院への支払いは自己負担限度額までとなります。詳しくは各自の加入されている健康保険にお問い合わせください。

## 人工関節置換術

股関節・膝関節痛の治療は、患者さんの自覚症状とエックス線検査(レントゲン)などの診断で決まります。はじめは消炎鎮痛剤などの薬物療法、運動療法や杖などの装具療法が行われます。

これらの治療で症状が改善しない場合は、手術(骨切り術や人工関節置換術)の適用となります。人工関節置換術は傷んだ骨を取り除き、インプラント(人工関節)に置き換える手術で、痛みを取り除く効果が高いとされています。



Check!

人工関節手術センターに関してホームページでより詳しく案内していますので、ご覧ください。



当院の整形外科を受診を希望される場合は、まずはお近くのかかりつけ医にご相談ください。

